

国際アジア共同体学会2022年次大会

International Academic Society of Asian Community Annual Conference 2022

『米中「新冷戦」とウクライナ戦後の世界へー日本の生きる道』

2022年7月9日(土) 10:30-18:30

会場: 立教大学11号館地下1階ABO1教室 (東京都豊島区西池袋3丁目3-4-1)

主催: 国際アジア共同体学会
後援: 日本中国友好協会、日本華人教授会

総合司会: 郭洋春 (立教大学経済学部教授)

10:30-11:30 自由論題部会 公募中
11:30-12:00 理事会
11:30-12:20 ランチ
12:30 開会挨拶 中川十郎 (学会学術顧問、名古屋市立大学22世紀研究所特任教授)
12:30-12:45 理事会報告 G7ドイツサミットを受けて 松下和夫 (学会理事長、京都大学名誉教授)

第1部 ウクライナ戦争の世界はどこに向かうのか

司会: 萩原伸次郎 (横浜国立大学名誉教授)

13:00-13:15 特別招請記念講演

鳩山友紀夫 (元首相、一般財団法人東アジア共同体研究所理事長)

13:15-14:55 記念講演

孫崎享 (元イラン大使、外務省国際情報局長) 「ロシア制裁後の米欧中インド関係を展望する」
矢吹晋 (横浜市立大学名誉教授) 「ウクライナ戦争—NATO拡大と米中「新冷戦」の行方」

14:55-15:35 基調講演 (各20分)

司会: 朱建栄 (東洋学園大学教授: 学会副代表)

下斗米伸夫 (神奈川大学特任教授) 「冷戦後ロシアとは何であり、どこに行くのか」
羽場久美子 (青山学院大学名誉教授) 「ロシア・ウクライナ戦争とアメリカの東アジア戦略」
鈴木宜弘 (東京大学農学生命科学研究院教授) 「到来する世界食糧危機にどう対応するのか」
大西広 (慶應義塾大学名誉教授) 「アメリカの「新冷戦」、中国の経済援助—ウクライナ戦争とは何か」
林亮 (創価大学社会学部教授) 「ウクライナ戦争とグローバル軍備競争—日中共生のシナリオ」
15:35-15:55 ディスカッション・質疑 (メディア関係者)
15:55-16:00 コーヒーブレイク

第2部 アジア地域連携と中韓協力—ウクライナ戦後の一帯一路の新展開

司会: 井川紀道 (元世界銀行MIGA長官、一帯一路日本研究センター副代表)

16:00-17:40 基調講演 (各20分)

久野新 (亜細亜大学国際関係学部教授) 「RCEPを通じた日中韓経済連携への道」
福山秀夫 (中国物流研究会幹事、元・日本郵船) 「ポストコロナとウクライナ情勢下の東アジア物流の進展」
朱炎 (拓殖大学政経学部教授) 「ポストコロナの一帯一路構想の進展と日中協力—ポストコロナの中国経済新動向」
三村光弘 (ERINA (環日本海経済研究所) 主任研究員) 「コロナ・ウクライナ後の北朝鮮の新動向」
金子勝 (慶應義塾大学名誉教授) 「アベノミクスの破綻とその帰結」

17:40-17:55 特別報告

周瑋生 (立命館大学政策科学部教授) 「東アジア・グリーンシルクロード都市連盟をどう構築するか」
17:55-18:15 ディスカッション・質疑 (メディア関係者)

18:15-18:30 閉会挨拶・総括

西原春夫 (早稲田大学元総長) 「コロナ禍とウクライナ戦から「アジア不戦共同体」へ」
総括: 進藤榮一 (学会会長、筑波大学大学院名誉教授)

18:45-20:45
研究懇親会
養老の瀧 南口店4F

お申込: <https://forms.gle/H3XH8UTtwC2qQQE76>

お問い合わせ info@isac-asia.com

